

県内景況情報

8月期

製造業

〈食料品〉

〔パン製造業〕

今年は前年に比べ猛暑が続いたにもかかわらず、売上は若干ながら増加した模様である。(材料のイースト購入がプラス20%超)

〔乳製品製造業〕

酪農家の減少による原料乳不足が喫緊の課題である。

消費伸び悩みが続く中、販売価格の値下げが懸念される。

〔菓子製造業〕

天候(猛暑、大雨)による悪影響が売上減に出たと思う。

〔醤油製造業〕

輸出の増加が出荷量の増加となっているのではないか。

〈木材・木製品〉

〔木材製造業〕

売上高は昨年比100%と、なんとか維持できている。

〔木材製造業〕

九州北部豪雨により組合員が被災し、約1ヵ月工場が稼働できなかった。

災害の関係で建具の作り替えの仕事が増えた(杷木、朝倉地区)。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄業〕

各社の得意先により、好調な会社と、不調な会社がきれいに分かれたままの状況という意味で、不変。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

電気使用量前年同月比100.8%(前々年同月比110.3%)。

〈電機機器〉

〔電気機械器具製造業〕

8月度売上高は、稼働日数の減少に伴い先月から若干減少。(前年同月比でも同様)。産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移しており、来月度以降の増産を期待している。

非製造業

〈卸売業〉

〔機械器具卸売業〕

猛暑のおかげで空調機等の売上げが増えた。

〈小売業〉

〔食肉小売業〕

先月より引き続き、豚肉の相場価格高値安定により、粗利の低下。

〈サービス業〉

〔宿泊業〕

九州北部豪雨の影響。出控え、風評でのキャンセル、予約の伸び悩み。

〔クリーニング業〕

季節の変わり目で秋の衣替えシーズンを期待している。多少、多くなった感じがする。

〔茶小売業〕

リーフ茶については大きな変動はないが、ペットボトルの増加に伴い、低価格の荒茶の価格が上昇気味である。又品薄でもある。

〈建設業〉

〔職別工事業〕

福岡都心部のマンション竣工が前月比139%。市内郊外東部の住宅建設(マンション・戸建)は145%、西部が101%。当組合関係地区全体では、前月比124%となっている。

〔設備工事業〕

連日の猛暑により、減少気味であった。反面7月が多忙だった地区が多く平均では不変か。

〈運送業〉

〔一般貨物自動車運送業〕

8月は各組合員平均で売上は増加しているが、収益は燃料単価若干増により前年比若干のマイナスが見られる。燃料単価が収益を大きく左右するので今後注意が必要である。

〔倉庫業〕

一般的には倉庫は不足しているが、組合員の中には一時的に倉庫に空きが出ているところもある。

福岡県の業種別D・I値の変化

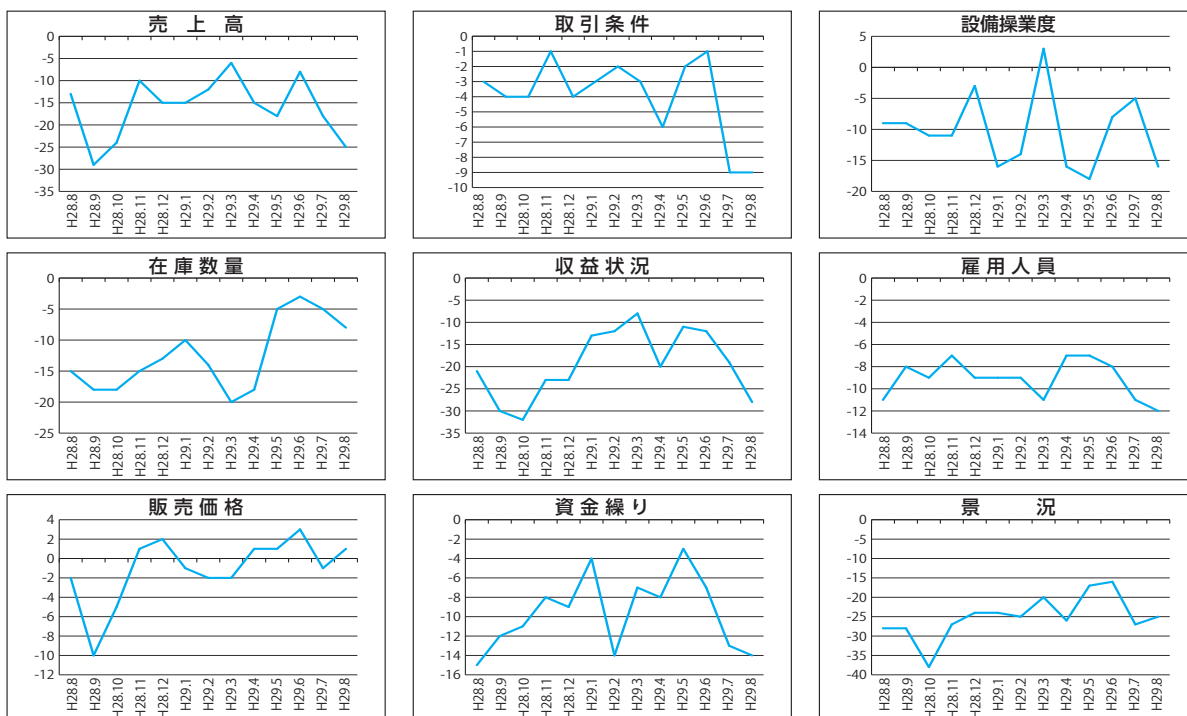
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	繊維・同製品	↓	→	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	木材・木製品	→	→	→	→	→	→	→	→	↓
	印刷	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	窯業・土石製品	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	→	↓	→	→	↓	→	—	→	→
	小売業	↓	→	→	→	→	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-25	-8	1	-9	-28	-14	-16	-12	-25

↑ 増加・上昇・好転 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中6項目が下降した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>